

農・食品



キーワード： 農業リスク管理 セーフティネット政策 海外農業政策

セーフティネット政策の構築

農学部 食農ビジネス学科 特任教授
吉井 邦恒 YOSHII Kunihisa

研究の内容

日本の食料・農業を守るため、生産・価格リスクに対応し、農業経営を安定させるセーフティネット政策を考える

背景

農業は、生産量や品質が変動し、それに応じて価格が変化するリスクに直面しています。アメリカやEUでは、農業のリスクを管理し、農業経営を安定させるための政策が実施されています。農業や食料は気候風土に根ざしているため、他国の農業政策をそのままの形で導入することはできません。

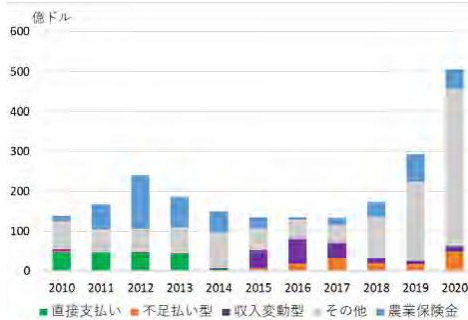
目的

食料自給率が低い日本において、安全で安心な食料を安定的に確保するため、農業のリスクを適切に管理できるセーフティネット政策を提案します。

主な成果

2018年に画期的な仕組みである収入保険が日本でも導入されました。アメリカやカナダの類似制度を分析し、収入保険の制度設計に寄与しました。

国内外でのインタビュー調査や政策・制度の分析を行いながら、効果的なセーフティネット政策の構築に向けて情報を発信しています。



アメリカの政府支払いの推移

収入を減少させるリスク	日本	アメリカ
自然災害による収量減少	○	○
市場価格の下落	○	○
災害による作付け不能	○	○
病気による収穫不能	○	×
倉庫の浸水被害	○	×
取引先の倒産	○	×
盗難・運搬中の事故	○	×
為替変動による損失	○	○
新型コロナウイルスの感染防止対策の影響による販売減少	○	×

日米の収入保険のリスク対応比較

■ 産学連携・社会連携へのアピールポイント

生産・価格リスクに対する第一世代、収入リスクに対する第二世代に続く第三世代のリスク管理政策として、所得（＝収入－支出）の低下リスクに対応する制度の研究を進めています。

農業者をはじめ農業団体、関連企業、行政機関など農業にかかわる方々のお話を伺いながら、地に足のついた政策を考えていきたいと思ひます。

研究室名（食料・農業政策学研究室）

URL : https://www.setsunan.ac.jp/agri/w/agri-food_business/yoshii/

